

岩手医科大学附属図書館所蔵和漢古書の日一覽

平林 香織¹⁾, 千葉 基弘²⁾, 中里 早希²⁾,
三浦 康宏¹⁾, 芳賀真理子²⁾

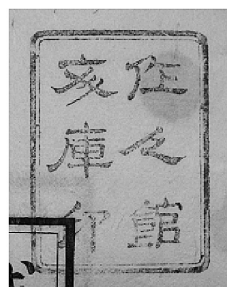
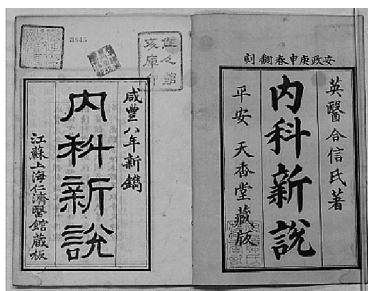
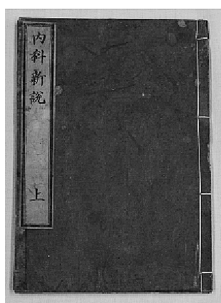
(受理 2015年 8月24日)

岩手医科大学附属図書館には、四方帙数411点、冊数にすると1,397冊の和漢古書が別置（本館 館長室）されている。また、分館書架には、洗浄・燻蒸を終えて整理中の和漢古書が2,030冊眠っている。つまり、所蔵する和漢古書のうち3分の2近く未登録の状態である。全貌については今後の調査を俟つこととして、本稿では、現在登録されている1,397冊についてその目録を公開し、今後のデータベース構築に向けての一助としたい。

これらと漢古書がどのような経緯でいつごろ本学図書館の蔵書となったのか、残念ながら詳しい経緯はわかっていない。大半は昭和3年（1928）2月財団法人岩手医学専門学校設立時に設置された図書課に登録されたものである。それらの受入時期は、昭和11年（1936）8月6日から11月5日に至るまでの間に「岩手図書館」より移管されたもののがもっとも早い。その後、個人による寄贈を含め、本学書庫の未整理典籍の登録が、昭和20年（1945）5月12日にはじまり現在にいたるまで続いている。

岩手医学専門学校が財団法人岩手医科大学に改組されるのが昭和22年（1947）であるから、昭和11年（1936）は、専門学校から医科大学に移行するちょうど中間あたりということになる。

『岩手医科大学四十年史』（森荘巳池編，1968年6月，岩手医科大学）には、本学図書館のあゆみが概観されている。それによると、昭和5年（1930）から図書整理が本格的に行われたという。当時は図書原簿により図書の管理を行っていたが、昭和18年（1943）からカード目録を作成しはじめる。なお、昭和11年2月に『岩手医学専門学校雑誌』が発刊され、国内の主要雑誌・紀要類との交換が行われるようになったとあるので、寄贈された雑誌を図書登録する一方で、和漢古書についても漸次登録



1) 岩手医科大学 教養教育センター 人間科学科文学分野

2) 岩手医科大学 学務部 図書館事務室

が行われていったのかもしれない。

上記『岩手医科大学四十年史』には、和漢古書のなかに「作人館文庫」の蔵書印が捺されたものがあると書かれている。現段階で確認できているものでいうと、安政七年（1860）天香堂版『内科新説』（英国医師ホブソン〈合信〉著、管茂材同撰、上中下三冊）に「作人館／文庫印」という子持枠付きの方印が捺されている（写真参照）。『内科新説』は3種の異版計5組があるが作人館文庫印があるのは、天香堂版のみである。

國本恵吉⁽¹⁾「礎」1～12（『岩手医科大学父兄会報—啐啄』第51号〈2003年12月〉～第62号〈2007年8月〉まで連載、著者病により未完）には、岩手医科大学前史ともいべき藩政期の藩校における医学教育の実態及び当時の医学校の蔵書が本学和漢古書につながる流れが略述されている。そのほか、杉田成卿訳『済生三方』（嘉永2年〈1849〉、原著はフーフェランド『内科必携』（1836年刊）や徐靈胎『医学源流論』（1764年）等の紹介も行われている。

盛岡藩校明義堂では洋学を教えることは禁じられていた。幕末に出版された西洋医学書は、本学が、西洋医学の学び舎である作人館・回生堂・日新堂の流れを汲むものであることの証左といえる。

一方、『岩手医科大学四十年史』「藩政時代の医学教育の章」や「岩手医学専門学校生誕の章」、國本恵吉「岩手医科大学史——岩手への近代医学の濫觴——」（『圭陵会会報』第309号、平成18年〈2006〉1月）に明らかたとおり⁽²⁾、本学の淵源は盛岡藩藩校明義堂内の医学教場や作人館医学所にさかのぼることができるので、現在収蔵の和漢古書の中には藩校の蔵書もあるだろう。

現在登録を終えている和漢古書の分類をみると、医学書だけではなく、日本史、日本古典文学、中国古典籍、武道書に関するものも多い。藩校のはじまりは武道稽古所であり、その後文武両道の教育が行われるようになり、幕末にいたって医学稽古所が設置された歴史に呼応するものと考えられる。

図書分類ごとの古書点数は以下の通りである。

分 類	冊 数	分 類	冊 数
総記（事典）	6	医業（法医学ほか）	15
哲学・宗教	59	予防医学	3
歴史（日本・中国）	148	内科学（漢方、伝染病ほか）	509
社会科学（民俗学ほか）	15	外科学	118
自然科学（数学・物理・化学）	15	産科・婦人科学	50
技術	13	小児科学	37
芸術・武術	11	眼科学	13
漢文	6	看護学	8
文学（詩歌・物語）	105	医学史	14
基礎医学（解剖学・薬理学）	252	合計冊数	1,397

この分類をみると、1,397冊のうち378冊が人文社会科学系の本であり、残りの1,019冊が医学関係の本であることがわかる。詳細な内容分析は、全体像がわかってからということになるが、現段階では、医学書は73%程度、残り27%が医学書以外である。中でも日本と中国の歴史書が150冊近くあり、文学に関する書籍が100冊を超えている点が興味深い。いわゆるリベラル・アーツとして広く文理融合教育を行おうとしていたことがうかがわれる。

『日本書紀』『万葉集』『源氏物語』という代表的な古典文学作品の読解・理解を通して、日本人の精

神性の根源を知らしめ、日本と中国の数千年の歴史を俯瞰することによって、自己の立ち位置を自覚させようとする医療人育成の基本精神が垣間見られる。これは、医者である前に一人の人間としての人格を陶冶しようとした三田俊次郎の建学の精神と不即不離のものである。

『保元物語』『源平盛衰記』といった軍記文学は、武道を学ぶための実践的な書物として読まれていた可能性が高い。

医学書に目を転じてみよう。

解剖学や薬理学に関する基礎医学書が252冊にのぼっている。杉田玄白らの解剖学の流れに即して、医学の基礎として人体の構造や組織のはたらきを深く理解した医学教育が行われていたことが明らかである。120年前の医学教育に使われた書籍が大切に保管されていることに、医療人育成の伝統の重みが表れている。

外科学書が100冊を超えているのは、江戸時代初期から盛岡藩内に置かれていた武道稽古所以来の武道修練中の怪我や故障に対する外科的処置が重要であったことと関連するだろう。

また伝染病に関する書籍も多い。天然痘結核等伝染性疾患に対する特効薬が未開発であった時代の苦悩の歴史の表れといえる。少ないながら法医学、予防学に関する医書があるなど、今日の医学分野に対応するような網羅的な医書の配置が意識されていたことがわかる。

残る2,000冊以上の和漢古書の今後の整理が俟たれる。本稿はその端緒として、館長室別置の本学附属図書館所蔵和漢古書リストを掲載するものである。

【注】

- (1) 『啐啄』55号（2005年4月）に付された著者略歴は次の通り。

昭和33年岩手医科大学卒業。38年慶應義塾大学医学部大学院博士課程終了^マ、学位取得後、岩手医大産婦人科学講座に帰学。43年講師、51年助教授、平成3年岩手医大を退職。滝沢中央病院長を経て、現在は内丸病院に在職中。医学教育や研究の傍ら執筆活動にも力を注ぎ、医学関係書のほか医史学関係の著書多数。昭和63年から岩手日報客員論説委員として「岩手の医療 先人たちの挑戦」を長期連載するなど、岩手の医療の歴史にも光をあててきた。

氏は、岩手医大第7期生。平成21年（2009）不帰の人となられた。医学史に関する著作をまとめた『岩手の医学通史—探訪と発掘—』（1987年6月、日韓岩手建設工業新聞社）、『盛岡藩医学教育史』（1992年1月、自費出版）等がある。

- (2) 本誌収載の平林香織・芳賀真理子・渡邊剛「岩手医科大学の軌跡（1）——草創期を振り返る」においても藩校から岩手医学専門学校への流れについて触れているので、参照されたい。

【付記】

平成26年度岩手医科大学教育改革支援助成金を受けて、「岩手医科大学医学教育史における教養教育活動を踏まえた教養教育改革」事業を展開中であるが、その一環として、和漢古書の書誌調査・古書撮影を継続中である。

岩手医科大学附属図書館所蔵和漢古書

○杉田成卿訳『済生三方』全3巻3冊

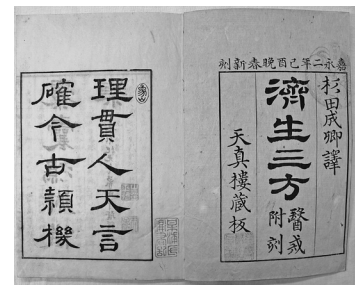


嘉永2年(1849)天真樓蔵板

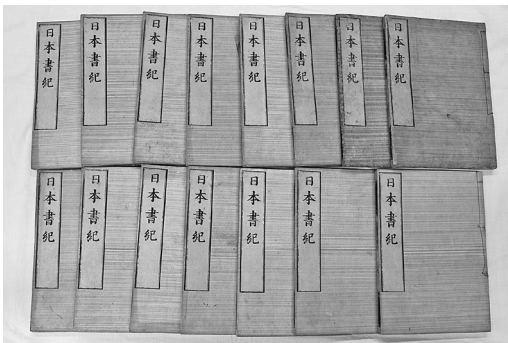
(ドイツ人医師フーフェランド著『Enchiridion Medicine』のハーゲマンによるオランダ語訳を杉田玄白の孫である杉田成卿が邦訳。本学には天使紋表紙のものと無地表紙の2種が伝来する。本文は同板。)



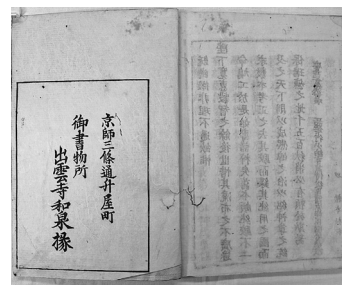
表紙は雷雲模様、丸に天使紋



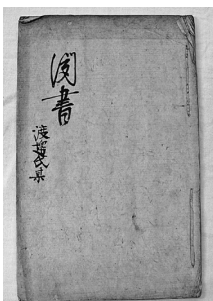
○『日本書紀』全30巻15冊



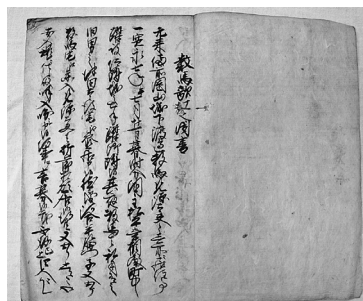
元禄8年(1695) 版元 出雲路泉掾



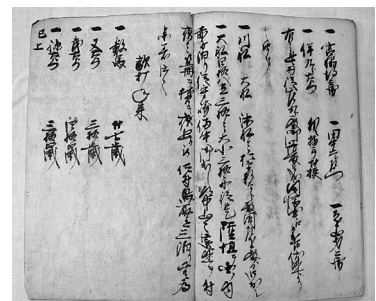
○『聞書』(日本三大敵討の一つ、寛永7年(1630)の伊賀越の敵討の概要。写本。)



(表紙)



(始頁)



(終頁)

[illegible]

岩手医科大学附属図書館和漢古書(館長室別置)リスト

平成27年10月現在

[illegible]

[illegible][illegible]

[illegible]

[illegible][illegible]

編者名	巻号	書名	発行所	発行年	頁数	印刷所	印刷所所在地	備考
柳田泉	70	大坂・四天王寺・二月十五日法華經講義の成立と一頁の考査	大坂・四天王寺・二月十五日法華經講義の成立と一頁の考査	1906	2010.13	1	東京・中野	1 東京・中野
柳田泉	71	龍巻の巻之七	龍巻の巻之七	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	71.1	龍巻の巻之七	龍巻の巻之七	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	71.2	龍巻の巻之七	龍巻の巻之七	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	72	龍巻の巻之八	龍巻の巻之八	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	72.1	龍巻の巻之八	龍巻の巻之八	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	72.2	龍巻の巻之八	龍巻の巻之八	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	73	龍巻の巻之九	龍巻の巻之九	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	73.1	龍巻の巻之九	龍巻の巻之九	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	73.2	龍巻の巻之九	龍巻の巻之九	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	73.3	龍巻の巻之九	龍巻の巻之九	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	74	龍巻の巻之十	龍巻の巻之十	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	74.1	龍巻の巻之十	龍巻の巻之十	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	74.2	龍巻の巻之十	龍巻の巻之十	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	74.3	龍巻の巻之十	龍巻の巻之十	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	75	龍巻の巻之十一	龍巻の巻之十一	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	75.1	龍巻の巻之十一	龍巻の巻之十一	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	75.2	龍巻の巻之十一	龍巻の巻之十一	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	75.3	龍巻の巻之十一	龍巻の巻之十一	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	76	龍巻の巻之十二	龍巻の巻之十二	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	76.1	龍巻の巻之十二	龍巻の巻之十二	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	76.2	龍巻の巻之十二	龍巻の巻之十二	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	77	龍巻の巻之十三	龍巻の巻之十三	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	77.1	龍巻の巻之十三	龍巻の巻之十三	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	77.2	龍巻の巻之十三	龍巻の巻之十三	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	78	龍巻の巻之十四	龍巻の巻之十四	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	78.1	龍巻の巻之十四	龍巻の巻之十四	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	78.2	龍巻の巻之十四	龍巻の巻之十四	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	79	龍巻の巻之十五	龍巻の巻之十五	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	79.1	龍巻の巻之十五	龍巻の巻之十五	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	79.2	龍巻の巻之十五	龍巻の巻之十五	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	80	龍巻の巻之十六	龍巻の巻之十六	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	80.1	龍巻の巻之十六	龍巻の巻之十六	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	80.2	龍巻の巻之十六	龍巻の巻之十六	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	81	龍巻の巻之十七	龍巻の巻之十七	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	81.1	龍巻の巻之十七	龍巻の巻之十七	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	81.2	龍巻の巻之十七	龍巻の巻之十七	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	82	龍巻の巻之十八	龍巻の巻之十八	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	82.1	龍巻の巻之十八	龍巻の巻之十八	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	82.2	龍巻の巻之十八	龍巻の巻之十八	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	83	龍巻の巻之十九	龍巻の巻之十九	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	83.1	龍巻の巻之十九	龍巻の巻之十九	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	83.2	龍巻の巻之十九	龍巻の巻之十九	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	84	龍巻の巻之二十	龍巻の巻之二十	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	84.1	龍巻の巻之二十	龍巻の巻之二十	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	84.2	龍巻の巻之二十	龍巻の巻之二十	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	85	龍巻の巻之二十一	龍巻の巻之二十一	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	85.1	龍巻の巻之二十一	龍巻の巻之二十一	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	85.2	龍巻の巻之二十一	龍巻の巻之二十一	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	86	龍巻の巻之二十二	龍巻の巻之二十二	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	86.1	龍巻の巻之二十二	龍巻の巻之二十二	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	86.2	龍巻の巻之二十二	龍巻の巻之二十二	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	87	龍巻の巻之二十三	龍巻の巻之二十三	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	87.1	龍巻の巻之二十三	龍巻の巻之二十三	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	87.2	龍巻の巻之二十三	龍巻の巻之二十三	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	88	龍巻の巻之二十四	龍巻の巻之二十四	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	88.1	龍巻の巻之二十四	龍巻の巻之二十四	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	88.2	龍巻の巻之二十四	龍巻の巻之二十四	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	89	龍巻の巻之二十五	龍巻の巻之二十五	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	89.1	龍巻の巻之二十五	龍巻の巻之二十五	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	89.2	龍巻の巻之二十五	龍巻の巻之二十五	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	90	龍巻の巻之二十六	龍巻の巻之二十六	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	90.1	龍巻の巻之二十六	龍巻の巻之二十六	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	90.2	龍巻の巻之二十六	龍巻の巻之二十六	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	91	龍巻の巻之二十七	龍巻の巻之二十七	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	91.1	龍巻の巻之二十七	龍巻の巻之二十七	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	91.2	龍巻の巻之二十七	龍巻の巻之二十七	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	92	龍巻の巻之二十八	龍巻の巻之二十八	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	92.1	龍巻の巻之二十八	龍巻の巻之二十八	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	92.2	龍巻の巻之二十八	龍巻の巻之二十八	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	93	龍巻の巻之二十九	龍巻の巻之二十九	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	93.1	龍巻の巻之二十九	龍巻の巻之二十九	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	93.2	龍巻の巻之二十九	龍巻の巻之二十九	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	94	龍巻の巻之三十	龍巻の巻之三十	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	94.1	龍巻の巻之三十	龍巻の巻之三十	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	94.2	龍巻の巻之三十	龍巻の巻之三十	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	95	龍巻の巻之三十一	龍巻の巻之三十一	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	95.1	龍巻の巻之三十一	龍巻の巻之三十一	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	95.2	龍巻の巻之三十一	龍巻の巻之三十一	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	96	龍巻の巻之三十二	龍巻の巻之三十二	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	96.1	龍巻の巻之三十二	龍巻の巻之三十二	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	96.2	龍巻の巻之三十二	龍巻の巻之三十二	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	97	龍巻の巻之三十三	龍巻の巻之三十三	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	97.1	龍巻の巻之三十三	龍巻の巻之三十三	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	97.2	龍巻の巻之三十三	龍巻の巻之三十三	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	98	龍巻の巻之三十四	龍巻の巻之三十四	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	98.1	龍巻の巻之三十四	龍巻の巻之三十四	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	98.2	龍巻の巻之三十四	龍巻の巻之三十四	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	99	龍巻の巻之三十五	龍巻の巻之三十五	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	99.1	龍巻の巻之三十五	龍巻の巻之三十五	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	99.2	龍巻の巻之三十五	龍巻の巻之三十五	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	100	龍巻の巻之三十六	龍巻の巻之三十六	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	100.1	龍巻の巻之三十六	龍巻の巻之三十六	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	100.2	龍巻の巻之三十六	龍巻の巻之三十六	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	101	龍巻の巻之三十七	龍巻の巻之三十七	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	101.1	龍巻の巻之三十七	龍巻の巻之三十七	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	101.2	龍巻の巻之三十七	龍巻の巻之三十七	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	102	龍巻の巻之三十八	龍巻の巻之三十八	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	102.1	龍巻の巻之三十八	龍巻の巻之三十八	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	102.2	龍巻の巻之三十八	龍巻の巻之三十八	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	103	龍巻の巻之三十九	龍巻の巻之三十九	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	103.1	龍巻の巻之三十九	龍巻の巻之三十九	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	103.2	龍巻の巻之三十九	龍巻の巻之三十九	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	104	龍巻の巻之四十	龍巻の巻之四十	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	104.1	龍巻の巻之四十	龍巻の巻之四十	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	104.2	龍巻の巻之四十	龍巻の巻之四十	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	105	龍巻の巻之四十一	龍巻の巻之四十一	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	105.1	龍巻の巻之四十一	龍巻の巻之四十一	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	105.2	龍巻の巻之四十一	龍巻の巻之四十一	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	106	龍巻の巻之四十二	龍巻の巻之四十二	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	106.1	龍巻の巻之四十二	龍巻の巻之四十二	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	106.2	龍巻の巻之四十二	龍巻の巻之四十二	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	107	龍巻の巻之四十三	龍巻の巻之四十三	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	107.1	龍巻の巻之四十三	龍巻の巻之四十三	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	107.2	龍巻の巻之四十三	龍巻の巻之四十三	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	108	龍巻の巻之四十四	龍巻の巻之四十四	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	108.1	龍巻の巻之四十四	龍巻の巻之四十四	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	108.2	龍巻の巻之四十四	龍巻の巻之四十四	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	109	龍巻の巻之四十五	龍巻の巻之四十五	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	109.1	龍巻の巻之四十五	龍巻の巻之四十五	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	109.2	龍巻の巻之四十五	龍巻の巻之四十五	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	110	龍巻の巻之四十六	龍巻の巻之四十六	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	110.1	龍巻の巻之四十六	龍巻の巻之四十六	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	110.2	龍巻の巻之四十六	龍巻の巻之四十六	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	111	龍巻の巻之四十七	龍巻の巻之四十七	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	111.1	龍巻の巻之四十七	龍巻の巻之四十七	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	111.2	龍巻の巻之四十七	龍巻の巻之四十七	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	112	龍巻の巻之四十八	龍巻の巻之四十八	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	112.1	龍巻の巻之四十八	龍巻の巻之四十八	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	112.2	龍巻の巻之四十八	龍巻の巻之四十八	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	113	龍巻の巻之四十九	龍巻の巻之四十九	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	113.1	龍巻の巻之四十九	龍巻の巻之四十九	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	113.2	龍巻の巻之四十九	龍巻の巻之四十九	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	114	龍巻の巻之五十	龍巻の巻之五十	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	114.1	龍巻の巻之五十	龍巻の巻之五十	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	114.2	龍巻の巻之五十	龍巻の巻之五十	1906	2010.13	3	龍巻(熊本)	3 龍巻(熊本)
柳田泉	115	龍巻の巻之五十一						

[illegible]

[illegible]